

第15次 12月バージョンアップ項目

<施工図> 開発内容

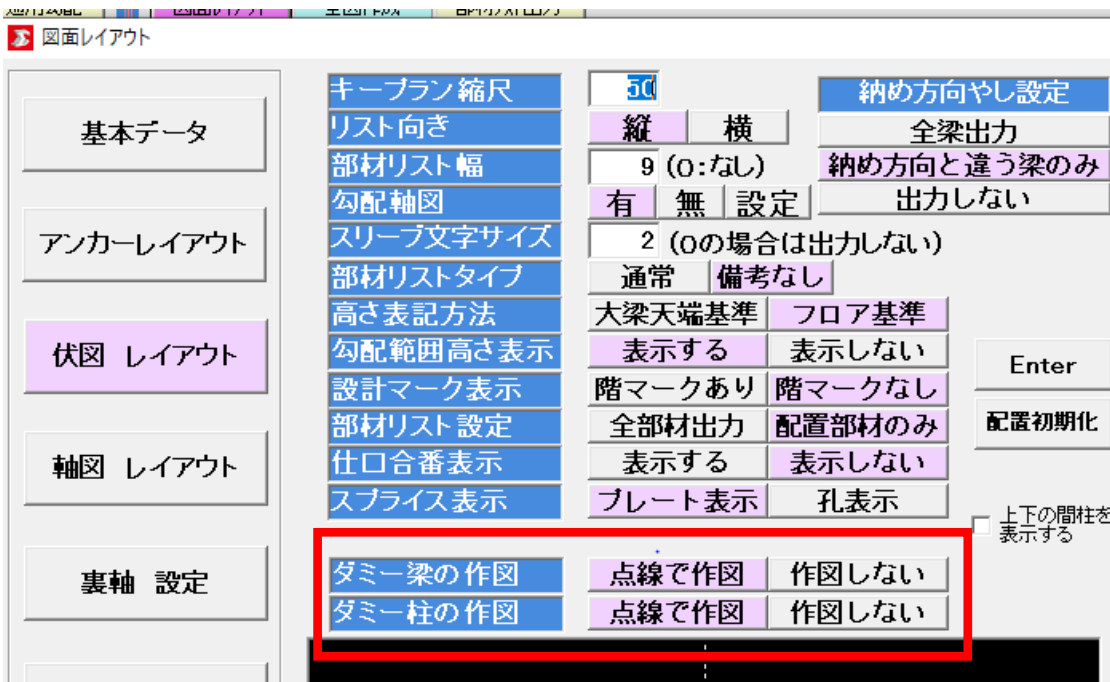
1. (new) 伏図作成：レイアウトにダミー梁・ダミー柱の作図の設定を追加しました。
2. (new) 本柱の部材にてC鋼・チャンネル・2C鋼・2チャンネルに対応しました。
3. (new) 本柱・ペント柱の下部をガセットに対応しました。
 - ※ペントハウス部材は本柱で入力する必要があります。
(間柱だと梁の下に柱部材が入り込んでしまいます)
 - ・ペントハウス設定の新規入力、本柱配置の修正でベースとガセットを選択するようにしました。
 - ・継手符号は柱ジョイントと同じ名前を使用できます。
柱部材入力でジョイント符号の入力があれば初期値とします。
 - ・ジョイントは小梁継手入力で行ないます。
継手のタイプは「2：本柱」になります。
4. (new) 梁詳細図-設定2-文字サイズ
合番等の文字サイズを設定できるようにしました。
合番の枠内の文字が対象です。
5. (new) 間柱部材にてC鋼・チャンネル・アングルの対応をしました。
6. (new) 間柱耐風梁入力
 - ・通りガイドに納め方向を表示
 - ・入力ガイド図(伏図) 梁の寄り寸法を表示
 - ・入力ガイド図(伏図) にガセットを表示
 - ・軸図に間柱部材の厚み線を作図するようにしました。
 - ・配置画面(軸図)、間柱の部材サイズを表示するようにしました。
 - ・間柱の距離入力のガイド図に”柱芯”と表示しました。
7. (new) 梁(H鋼)の厚み線の作図の設定を追加しました。
(「梁配置」の右下部にチェックがあります。)
8. (new) 間柱軸図配置画面にて納め方向を表示するようにしました。
9. (new) 水勾配にて「ダイヤフラムを厚くする」機能をH柱時にも追加しました。
10. (new) 柱単品図・コア仕口組立図にてブラケットの対角寸法を梁芯で出力できるようにしました。
「柱詳細」-「出力設定」-「対角寸法表示」にチェック項目が追加されています。
11. 角パイプの挟み込みクリア 1.5 ミリを 1 ミリに変更しました。
12. (new) 画面(伏図) に間柱ガセットを作図するようにしました。
13. (new) 柵ツクの追い寸が追加されるようになりました。

< 胴縁 > 開発内容

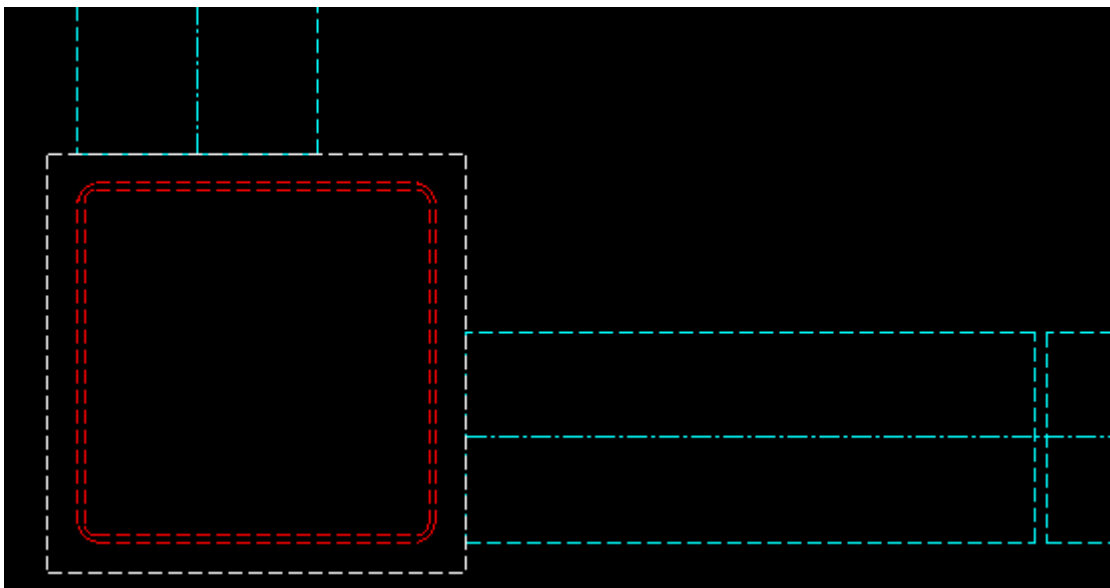
1. (new) 胴縁ピースの形状に羽子板形状が追加されました。
2. (new) プレートピース、羽子板形状のクリアの設定を追加しました。
3. (new) 「初期設定」 - 「基本データ」 - 「角パイプ2」
 - ・カット T の設定を全工事共通から工事別にしました。
4. (new) 物件毎に最大製品長を設定できるようにしました。
5. (new) 点滅表示の作図色の設定を追加しました。
- 6.

< 施工図 >

1. (new) 伏図作成：レイアウトにダミー梁・ダミー柱の作図の設定を追加しました。



※点線でのダミー柱・梁の作図例



2. (new) 本柱の部材にてC鋼・[鋼・2C鋼・2[鋼に対応しました。

<C鋼>

柱部材入力

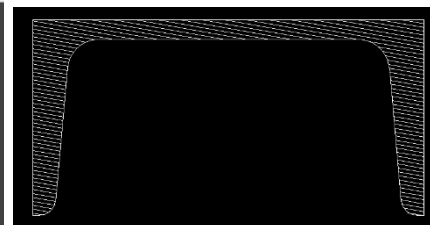
本柱	符号	サイズ	マスター[/]
間柱	C10	C-250x75x25x4.5	



<[鋼>

柱部材入力

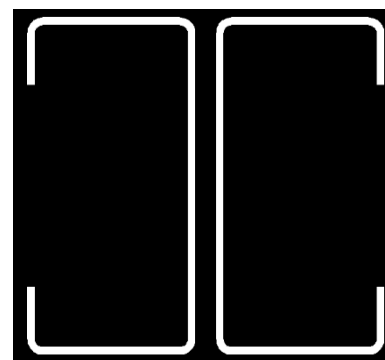
本柱	符号	サイズ	マスター[/]
間柱	[10	[-380x100x13x20	



<2C鋼>

柱部材入力

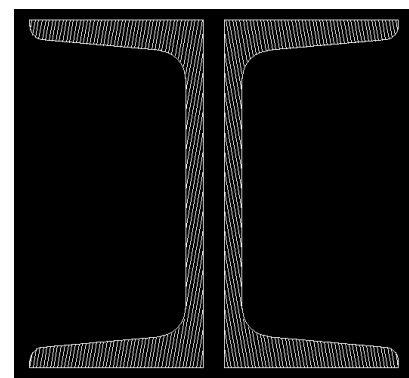
本柱	符号	サイズ	マスター[/]
間柱	2C10	2C-250x75x25x4.5	
	隙間	6	



<2[鋼>

柱部材入力

本柱	符号	サイズ
間柱	2[10	2[-380x100x13x20
	隙間	6



3. (new) 本柱・ペント柱の下部をガセットに対応しました。

※ペントハウス部材は本柱で入力する必要があります。

(間柱だと梁の下に柱部材が入り込んでしまいます)

- ・ペントハウス設定の新規入力、本柱配置の修正でベースとガセットを選択するようにしました。
- ・継手符号は柱ジョイントと同じ名前を使用できます。

配置手順 1

1. 柱配置→2. 本通り及びペント通りからの配置→3. 柱修正でガセットに変更をチェック

<ペントハウス設定 新規入力画面>

ペントハウス設定	
柱符号	PHC1
<input type="radio"/> ベース	<input checked="" type="radio"/> ガセット New
継手符号	PHC1
回転タイプ	1
合わせA	3
合わせB	1
ずれ →	-80
ずれ ↑	0
クリア	10
板厚	6
納め方向	1

<本柱配置 修正画面>

本柱配置	
ペントハウス部分	<input type="radio"/> ベース <input checked="" type="radio"/> ガセット New
ベース合番	
リブ板厚	0
クリア	35
継手符号	PHC1
納め方向	1

1 : [→] [↑]
2 : [←] [↓]

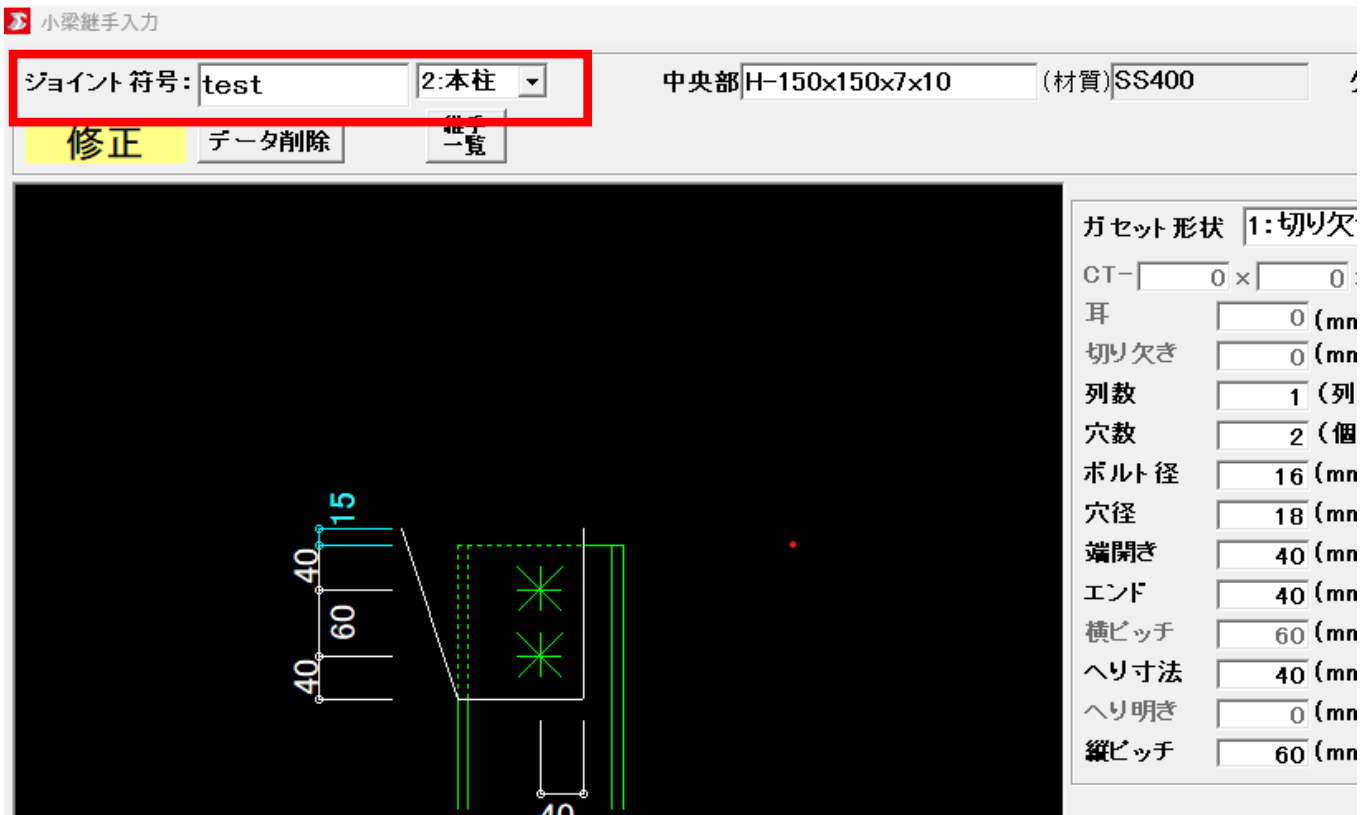
配置手順 2

4. ジョイントの項目で継手符号の登録→5. 原寸型板に入り実際の板番の登録

< 継手符号 登録画面 >

・ペント柱のガセットは**小梁継手入力**で行ないます。

継手のタイプは「2：本柱」になります。

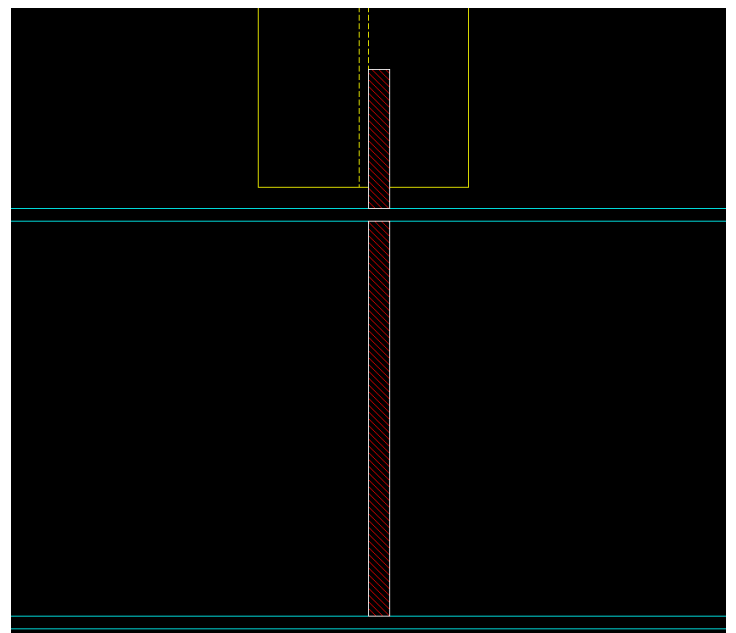
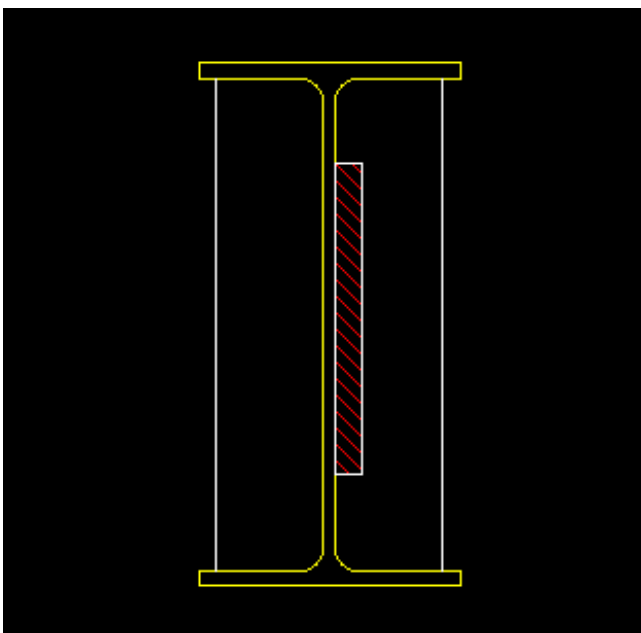


・画面（伏図）にて、配置階の上の階のガセットは点線で作図されます。

（システム上、配置階の上階でペントハウスを入力する仕様のため）

< 伏図 配置階(配置後画像) >

< 軸図 断面 > 画像



4. (new) 梁詳細図-設定2-文字サイズ

合番等の文字サイズを設定できるようにしました。

- ・合番の枠内の文字が対象です。

梁詳細設定

設定1 | 設定2 | 設定3

梁詳細設定2

FL、SLからの下がり

- 出力する 出力しない

断面図 倍率 断面図 出力色

倍

- 黄色で出力 通常色で出力

寸法値小数点以下

- 出力する 出力しない (四捨五入)

文字サイズ

寸法 サイズ mm 文字幅比 %

合番 サイズ mm 文字幅比 %

ガセット合番出力(フランジ面)

- 出力する 出力しない

追寸出力

- 出力する 出力しない

断面図第一孔寸法出力

- 出力する 出力しない

梁合番が同じで、左右の通り名が違う場合

- 別々に出力する まとめて出力する

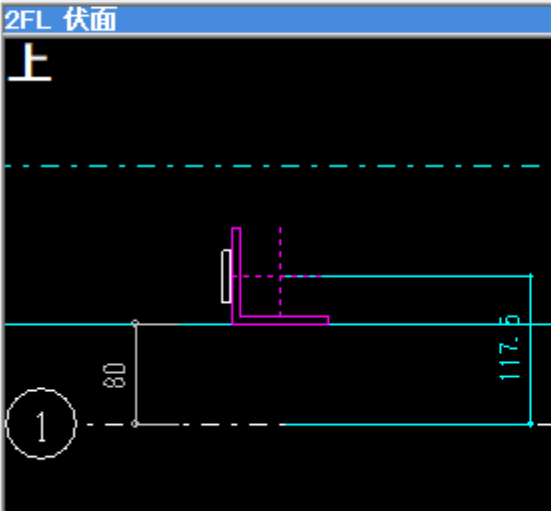
5. (new) 間柱部材にてC鋼・チャンネル・アングルの対応をしました。

<アングル>

通り芯からの距離を入力してください

2FL 伏面

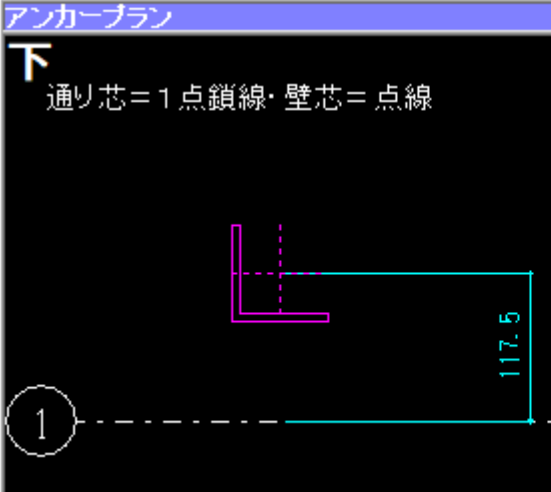
上



アンカープラン

下

通り芯 = 1点鎖線・壁芯 = 点線



間柱、耐風梁配置

間柱

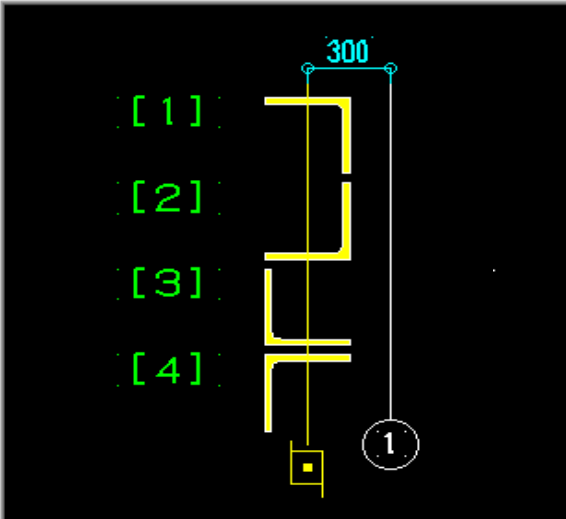
柱符号	P3
距離	2500
距離 2	0
回転 1	合わせ 2
逃げ	80
継手タイプ 上 2	
ベース距離	-200
クリア [上]	15
ベース符号	P4
ジョイント符号 [上]	PJ4
合番	P3-1
納め方向	2
斜め切り	1
リブ板方向	1

伏図案内表示

梁ベース設定

決定

終了



<チャンネル>

通り芯からの距離を入力してください

2FL 伏面

上

アンカープラン

下

通り芯 = 1点鎖線・壁芯 = 点線

間柱、耐風梁配置

間柱

柱符号	P4
距離	2000
距離 2	0
回転 1	合わせ 2
逃げ	80
継手タイプ 上 2	
ベース距離	-200
クリア [上]	15
ベース符号	P4
ジョイント符号 [上]	PJ4
合番	P4-1
納め方向	1
斜め切り	1
リブ板方向	1

伏図案内表示

梁ベース設定

決定

終了

<C 鋼>

通り芯からの距離を入力してください

2FL 伏面

上

アンカープラン

下

通り芯=1点鎖線・壁芯=点線

間柱、耐風梁配置

間柱

柱符号	P5
距離	2000
距離 2	0
回転 1	合わせ 2
逃げ	80
継手タイプ 上 2	
ベース距離	-200
クリア [上]	15
ベース符号	P5
ジョイント符号 [上]	PJ5
合番	P5-1
納め方向	2
斜め切り	1
リブ板方向	1

伏図案内表示

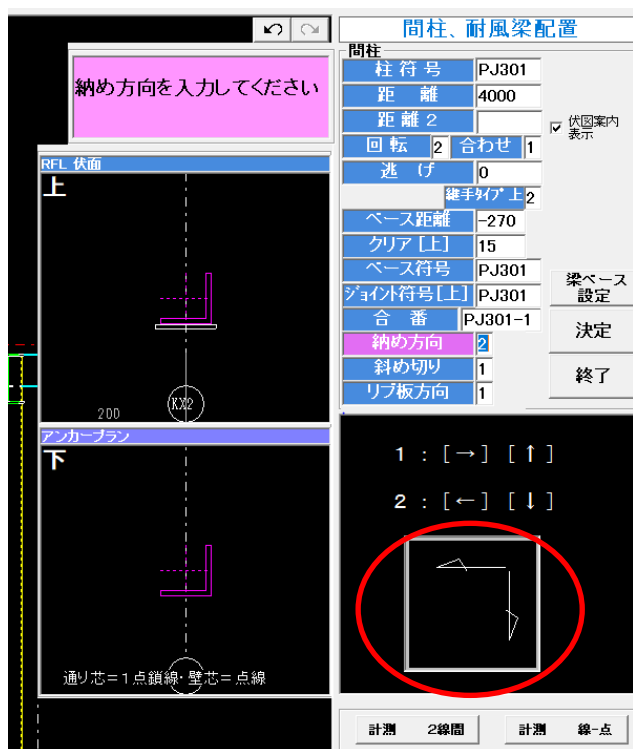
梁ベース設定

決定

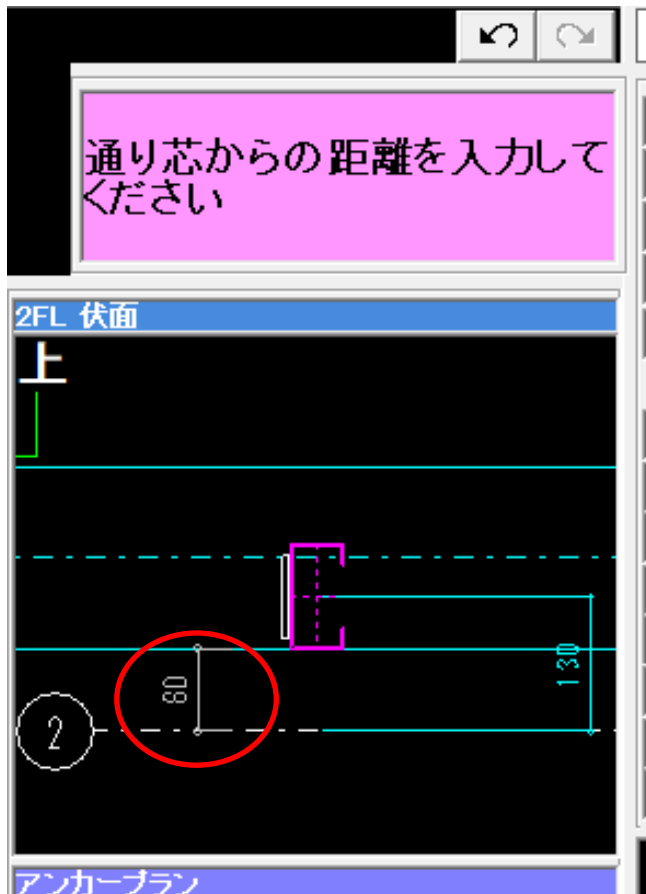
終了

6. (new) 間柱耐風梁入力

- ・通りガイドに納め方向を表示



- ・入力ガイド図 (伏図) 梁の寄り寸法を表示



- ・入力ガイド図（伏図）にガセットを表示



- ・間柱の距離入力ガイド図に”柱芯”と表示しました。

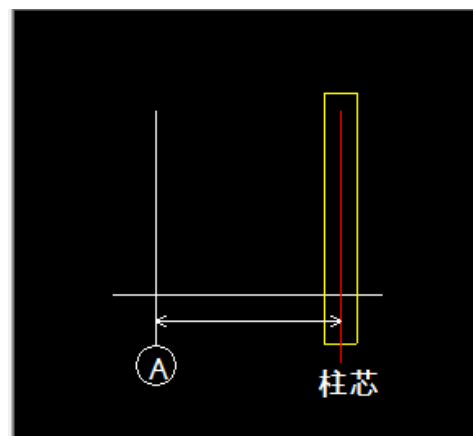
間柱	
柱符号	P1
距離	2000
距離 2	
回転	1 合わせ 2
逃げ	120
	継手タイプ 上 2
ベース距離	-200
クリア [上]	15
ベース符号	P1
ジョイント符号 [上]	PJ1
合番	P1-2
納め方向	1
斜め切り	1
リブ板方向	1

伏図案内表示

梁ベース設定

決定

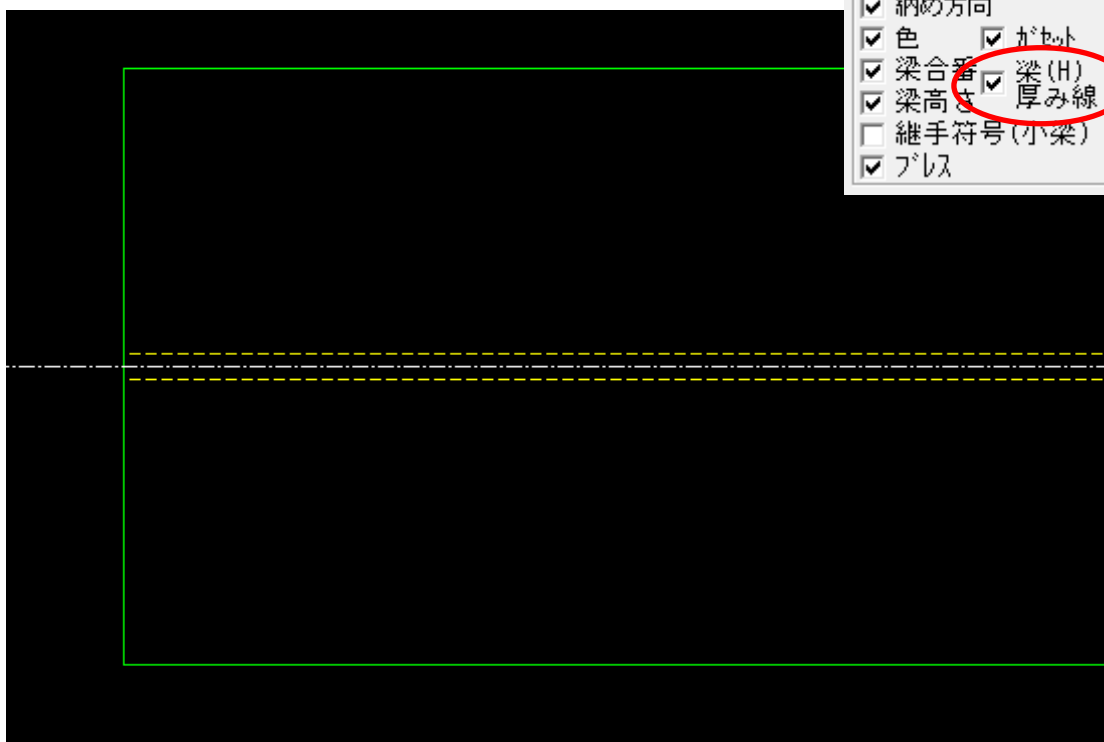
終了



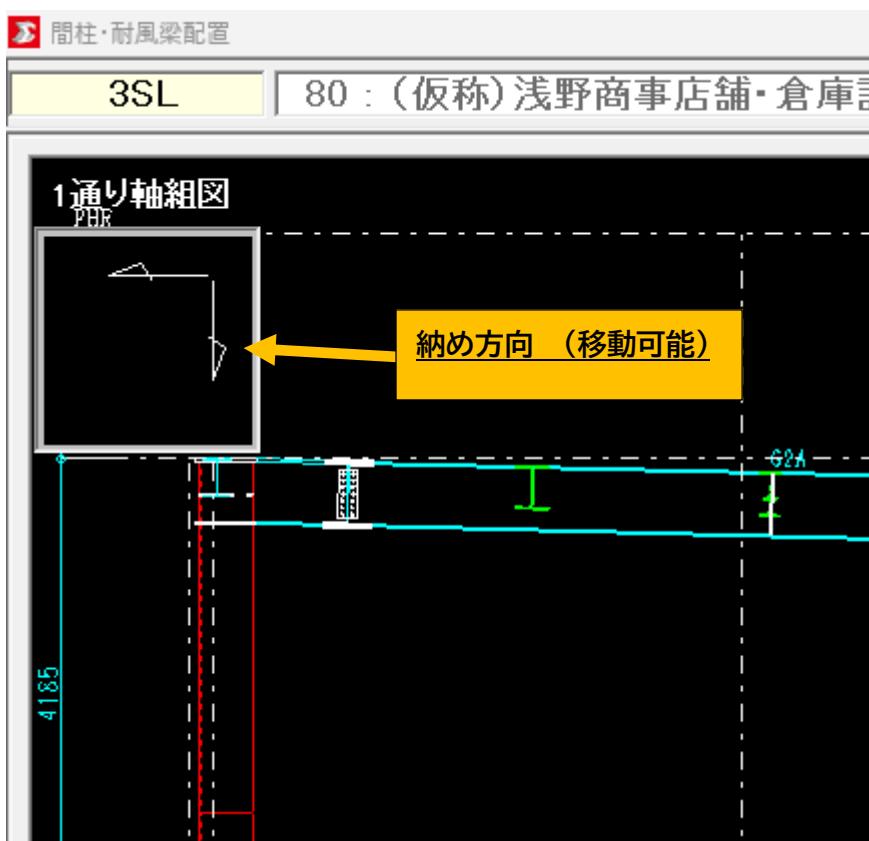
7. (new)梁 (H鋼) の厚み線の作図の設定を追加しました。

(「梁配置」の右下部にチェックがあります。)

<伏図>



8. (new)間柱軸図配置画面にて納め方向を表示するようにしました。



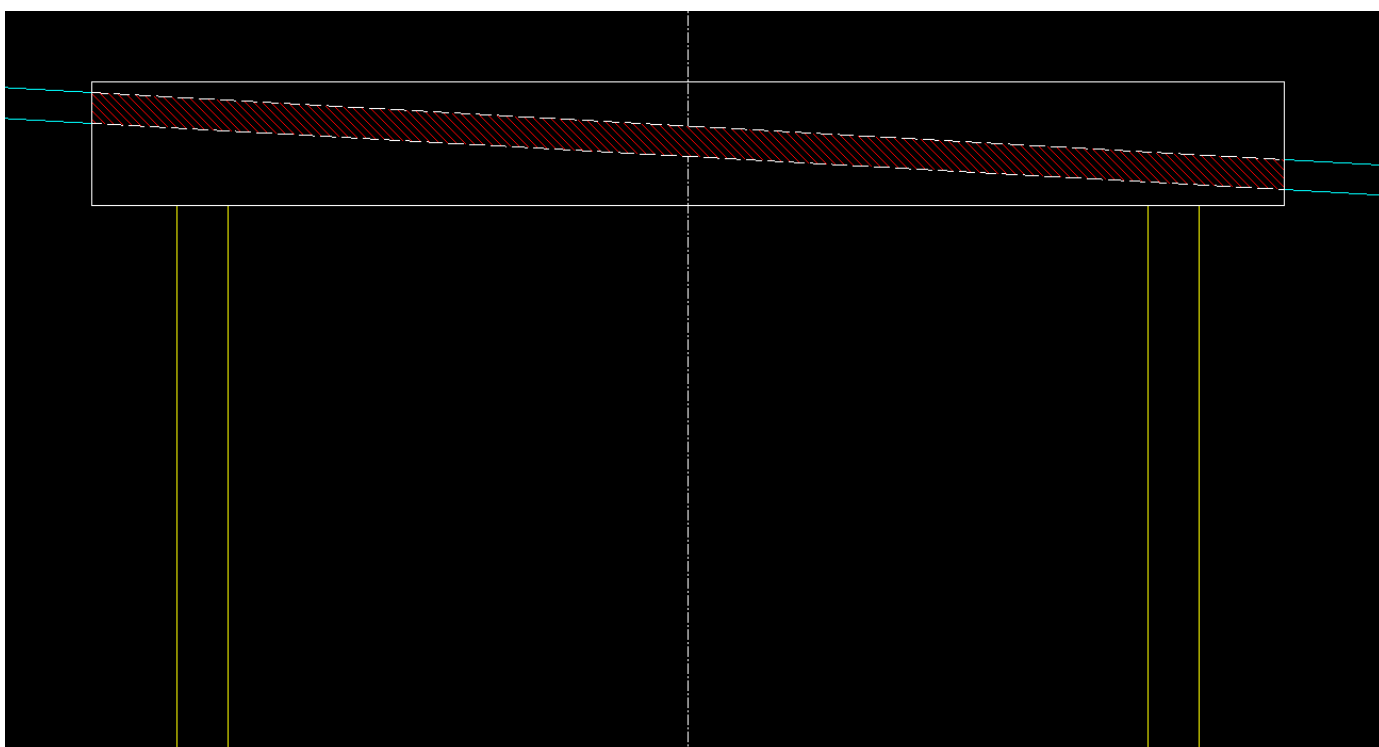
9. (new)水勾配にて「ダイヤフラムを厚くする」機能をH柱時にも追加しました。

The screenshot shows a software interface for setting water slope. On the left, a dark area displays two diagrams, [1] and [2], comparing slope lines. Diagram [1] shows a curved slope line, while diagram [2] shows a straight slope line. A yellow triangle with '0' and '終点①' is visible in the top left. On the right, a '水勾配設定' (Water Slope Setting) panel is shown. It includes fields for '階' (RSL), '勾配タイプ' (1), '勾配方向' (2), and '鉄骨領域'. Below these are tables for '始点通' and '終点通' settings. A '柱形状通り別設定' (Column Shape Through Different Setting) section includes '始点通 高さ' (-1179), '終点通 高さ' (0), '小梁形状' (2), and 'ダイヤ形状' (2), with the latter circled in red. Buttons for '勾配計算 除外梁選択' and 'Enter' are at the bottom.

水勾配設定	
階	RSL
勾配タイプ	1
勾配方向	2
鉄骨領域	
始点通 X	a 通り
始点通 Y	A 通り
終点通 X	8 通り
終点通 Y	G 通り

柱形状通り別設定		
始点通 高さ	-1179	始点通変更
終点通 高さ	0	終点通変更
小梁形状	2	勾配基準柱 通り選択
ダイヤ形状	2	

※これらの設定を用いると勾配ラインが一直線になります。



10. (new) 柱単品図・コア仕口組立図にてブラケットの対角寸法を梁芯で出力できるようにしました。
「柱詳細」 - 「出力設定」 - 「対角寸法表示」 にチェック項目が追加されています。

下記画像のようなフランジテーパーの梁などで用いると有用です。

出力設定

出力方式	2
出力方向	1
出力文字サイズ	3
文字幅比 (%)	60
用紙サイズ	3
図面レイアウト	20
キープラン縮尺	440
仕口部納まり詳細表示	1
柱詳細 柱全長寸法表示	1
タイコ、シャフト合番	1
製品マーク、合番設定	1
全断面出力(柱詳細)	2
柱・梁部材 文字幅比 (%)	60
梁部材引出線表記	2
合番表記	1
断面 梁ツラ表示	2
吊りピース表示	2
ガス抜き穴設定	2
平面レイヤー設定	2
対角寸法表示	2

直交ブラケット間の寸法表示

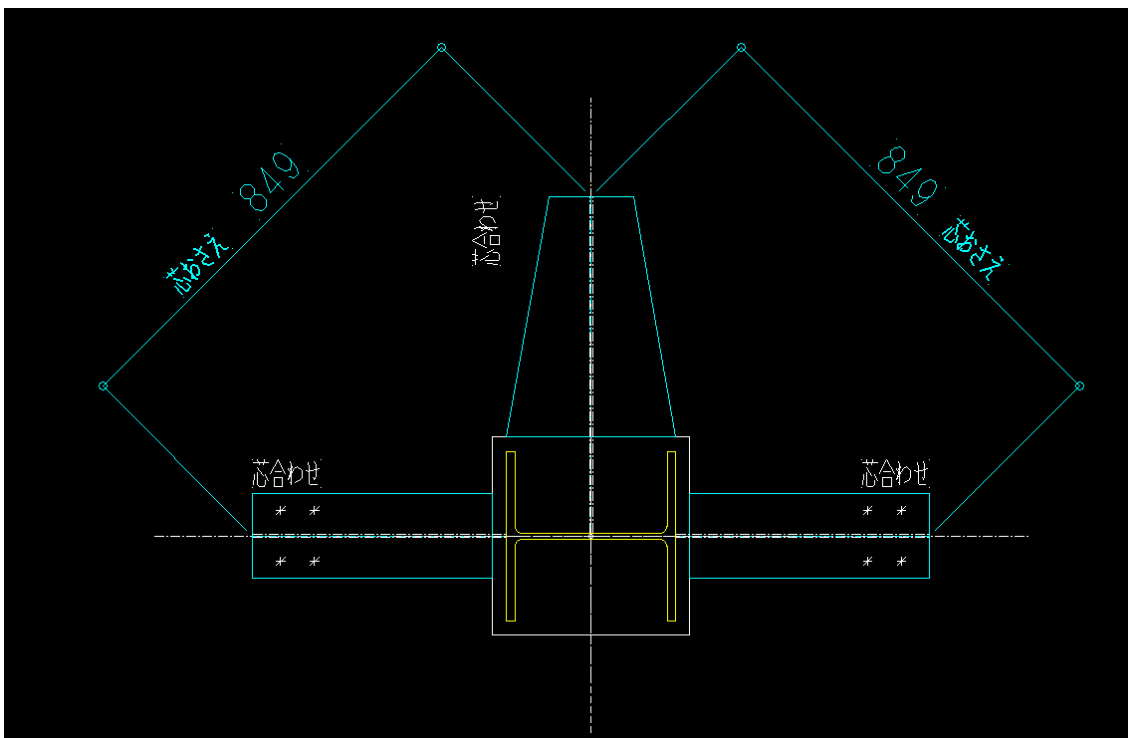
1 = 表示しない

2 = コア仕口組立図のみ表示する

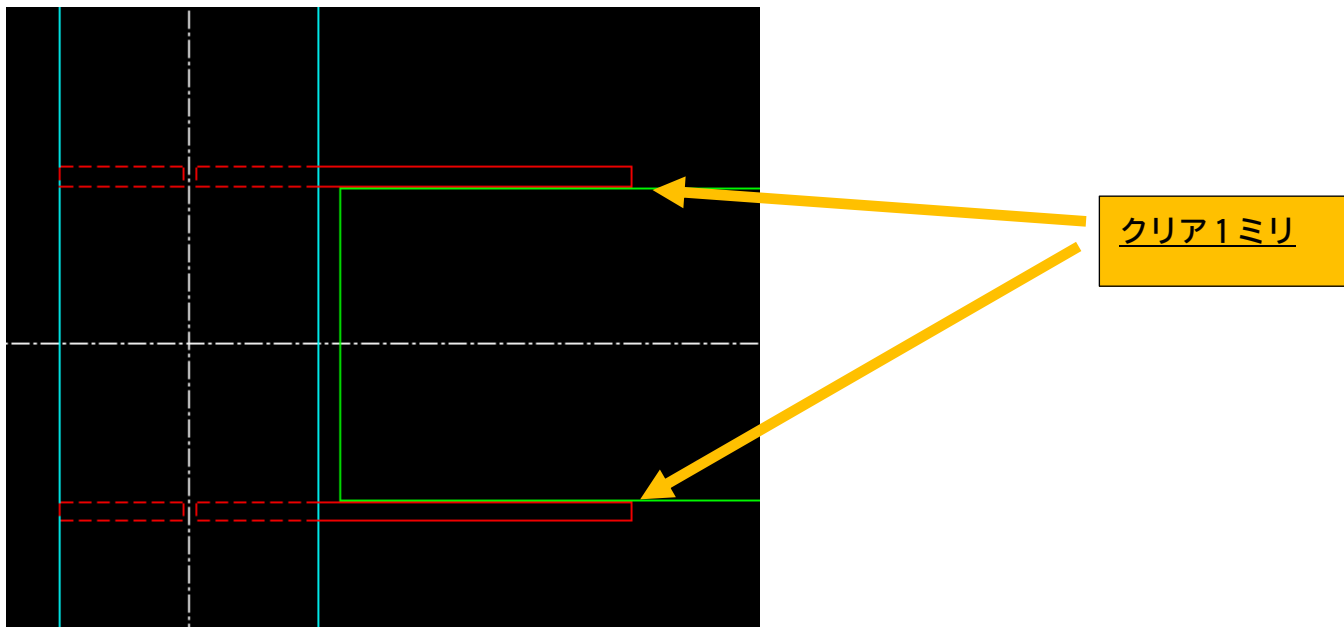
3 = コア仕口組立図と柱詳細、単品図に表示する

寸法の基準 梁面(従来通り)

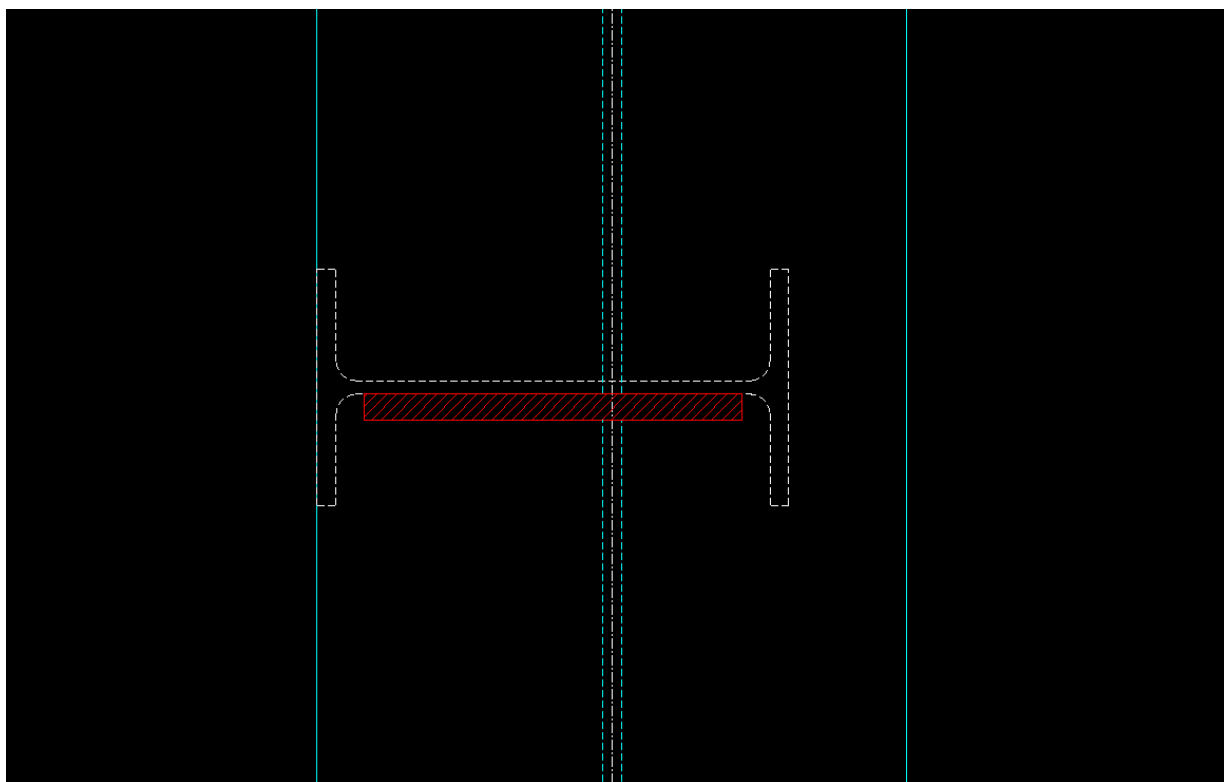
梁芯



11. 角パイプの挟み込みクリア 1.5 ミリを 1 ミリに変更しました。

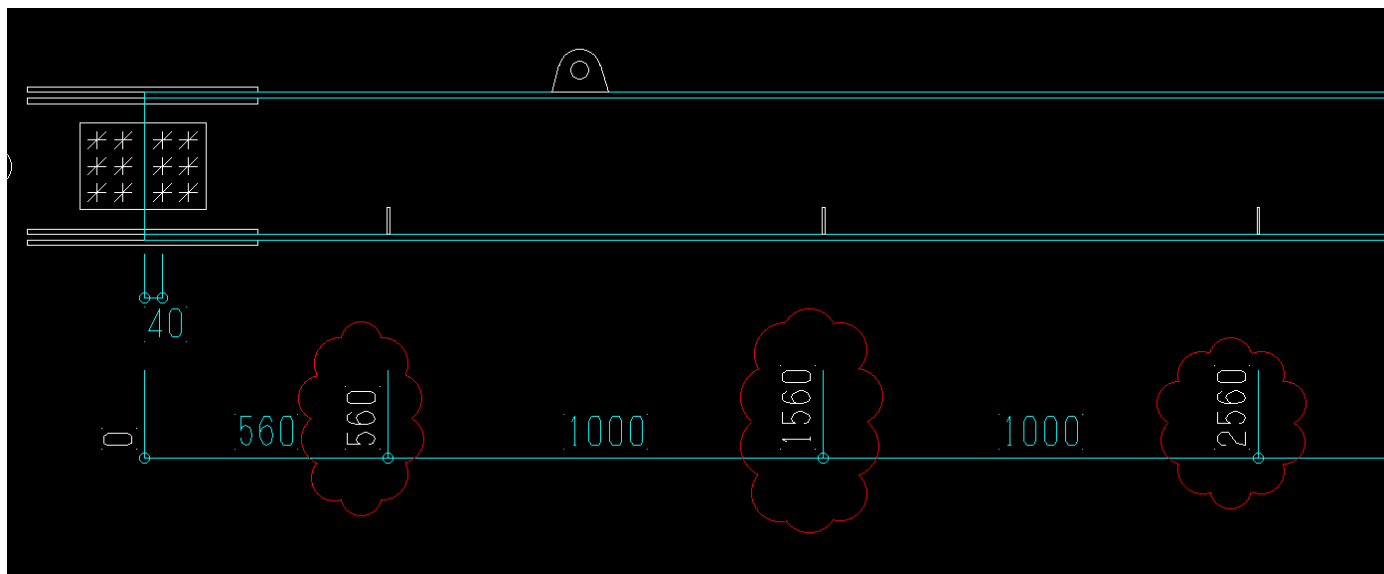


12. 画面（伏図）に間柱ガセットを作図するようにしました。



13. (new)ネットフックの追い寸が追加されるようになりました。

画像例(梁单品図)



-----< 胴縁 >-----

1. (new) 胴縁ピースの形状に羽子板形状が追加されました。

※今回追加されたピースの形状と羽子板ピースを利用する際の注意点

胴縁ピースの各種設定によりピースの長さが変わってきます。

孔芯固定の場合には厚みによってはピースが入りこむ部分の長さが変わります。

PL 長さ固定の場合には第一穴までの距離が変わってきます。

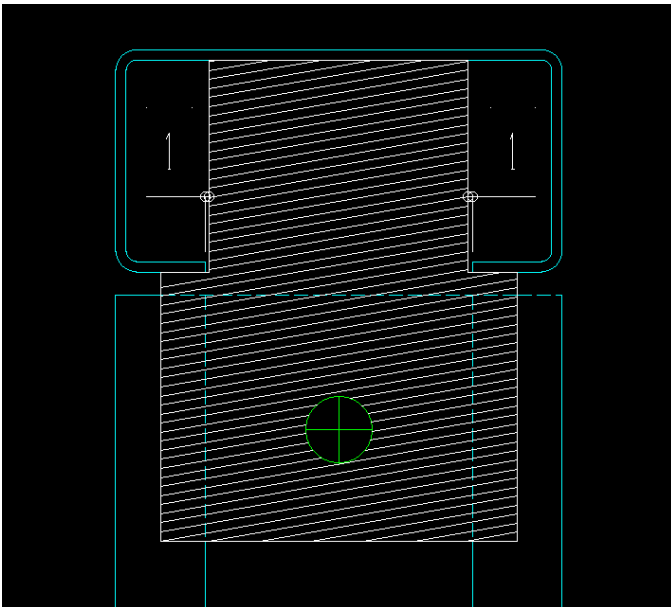
2. (new) プレートピース、羽子板形状のクリアの設定を追加しました。

・「初期設定」-「基本データ」-「ピース配置1」

前述の資料でご説明させていただいた羽子板形状のピースの端部にクリアを設ける設定を追加しました。

「デフォルト数値 1mm (片側のみの数値になります、1mm だと両側合計でクリア 2mm)」

※該当箇所



3. (new) 「初期設定」 - 「基本データ」 - 「角パイプ2」

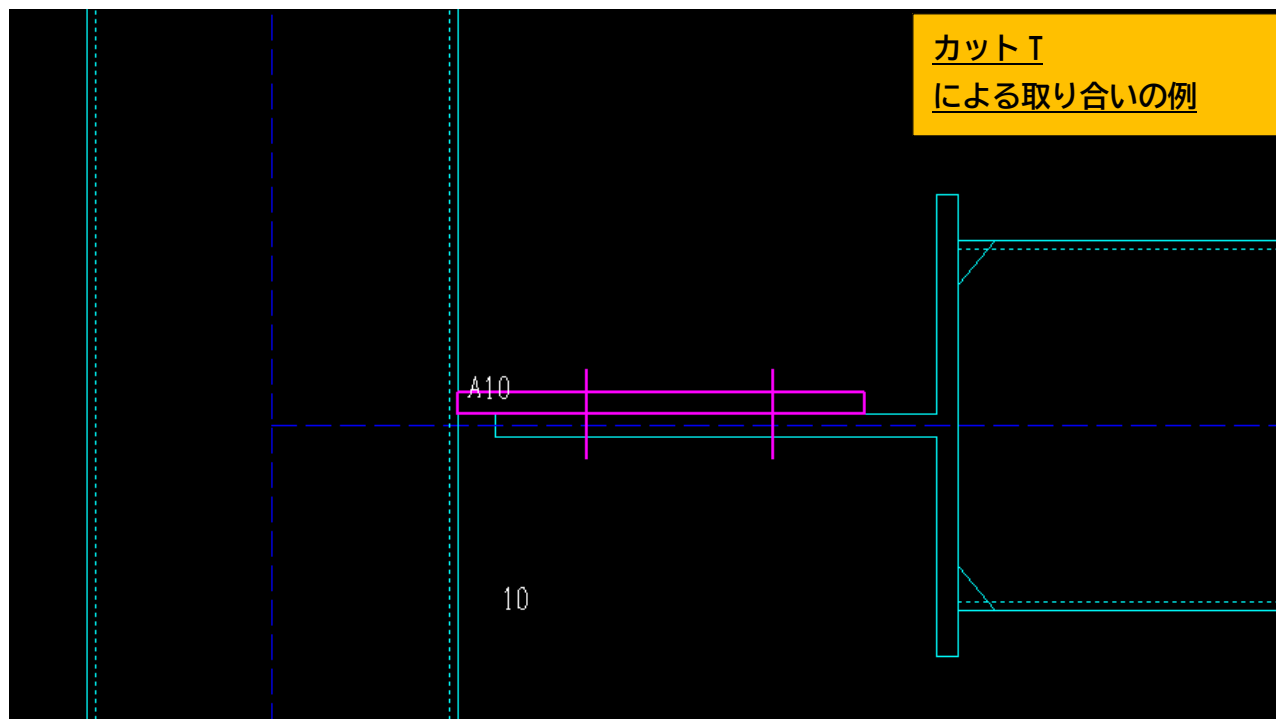
- ・カットTの設定を全工事共通から工事別にしました

これまでカットTの設定はすべての工事で共通の設定が用いられていましたが、

今バージョンより、工事ごとに部材サイズなどの設定を工事別に変更することが、可能になりました。

設定は初期設定、基本データ内、角パイプ2にございます。

角パイプ	CTのサイズ	CTのミミ寸法
100x100	CT-100x100x5.5x8	10
125x125	CT-125x125x6x9	



4. (new) 物件毎に最大製品長を設定できるようにしました。

設定は初期設定、基本データ内、角パイプ2にございます。

※こちらは定尺の点滅設定を物件ごとに個別に行えるようになる設定となります。

初期設定 図面読込 間柱耐風梁 胴縁編集 開口編集 ピース編集 データ確認 割付寸法線 データ出力

基本データ

胴縁配置 | クリア | ピース配置1 | ピース配置2 | ピース符号 | マーク | 角パイプ1 | 角パイプ2

胴縁部材の初期値

シングル 部材

合わせ 背 刃 芯

刃の向き 下・左向き 上・右向き

ダブル 部材

DC材隙間

合わせ 下・左 上・右 芯

角パイプ 部材

合わせ 下・左 上・右 芯

胴縁のタイプ 横胴縁 縦胴縁

有効な胴縁の最小長さ

胴縁の最小間隔

横胴縁の割付ピッチ

縦胴縁の割付ピッチ

胴縁の最大製品長

定尺長の点滅設定が有効の場合に、
入力値より長い胴縁は点滅表示します
※入力値が0の場合は無効

5. (new) 点滅表示の作図色の設定を追加しました。

設定は初期設定、環境設定内、その他2にございます。

初期設定 図面読込 間柱耐風梁 胴縁編集 開口編集 ピース編集 データ確認 割付寸法線 デ

環境設定

画面表示1 | 画面表示2 | 図面読込 | 図面出力1 | 図面出力2 | フォント | その他1 | その他2 | ◀ ▶

定尺長を超えた胴縁を点滅表示する

点滅の速度 初期値 1 秒

点滅の作図色

重なって配置したピースを点滅表示する